

令和元年度

日本小児歯科学会女医の会 in 岡山のお知らせ

日本小児歯科学会女医の会の皆さま、お元気でご活躍の事と存じます。
さて、今年度も下記日程で、講演会を催すことになりました。事前申し込みは不要でございます。多数のご参加をお待ちしております。尚、本会は専門医更新の年間5単位を追加することが出来ます。

記

日時：令和2年（2020年）2月23日（日）13時30分～15時
演題：小児の齲蝕と歯周病の現状 ～口腔内細菌叢の変化からの考察～
講師：仲野道代（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野）

会場：岡山コンベンションセンター 405 会議室
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14-1
TEL086-214-1000

参加費：¥5000

*同会場にて13時より総会を行っているため、会員外の方は総会終了後の入場となります。

*事前お申し込みは不要です。当日会場でお支払いください。

連絡先：原-工藤麻子 hara-asa@dd.iij4u.or.jp

はら こども・ファミリー歯科 ☎0867-42-1086 📠0867-42-0326

小児の齲蝕と歯周病の現状

～口腔内細菌叢の変化からの考察～



講師 仲野道代先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野 教授

小児齲蝕は最近になって大きく減少してきたものの、ランパントカリエスを呈する子どもは減少しておらず、齲蝕の二極化といわれる状況となっています。また、小児期にはみられなかった歯周病も近年、増加してきました。日本人のライフスタイルは大きく変化し、同時に子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しました。さらに、貧困や虐待などの社会的問題から個々の子どもの生育環境にも大きな格差が生じ、口腔崩壊へと結びついているケースも少なくありません。最近の齲蝕や歯周病の状況は、生育環境の変化から生じる口腔内細菌叢の変化が影響している可能性が考えられます。本講演では、口腔内細菌叢の変化を考察しながら、齲蝕および歯周病の現状について、口腔内細菌叢の変化を考察しながらお話していきたいと思えます。

略歴

- 1987年 4月 広島大学歯学部 入学
- 1993年 3月 広島大学歯学部 卒業
- 1993年 4月 大阪大学歯学部附属病院小児歯科 研修医
- 1995年 2月 大阪大学歯学部附属病院小児歯科 医員
- 2002年 10月 大阪大学歯学部附属病院小児歯科 助手
- 2003年 12月 ニューヨーク州立大学バッファロー校 博士研究員
- 2005年 9月 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 助手
- 2007年 4月 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 助教
- 2008年 7月 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 准教授
- 2011年 4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野 教授